

会計名			高齢者の生きがいと健康づくり推進事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	老人クラブ活動等を通じて、高齢者の生きがいと社会参加を促すとともに、心と身体の健康づくりを推進する。		主たる内容	○老人クラブ連合会及び単位老人クラブへの補助金の交付 ○高齢者を対象としたスポーツ大会や世代間交流行事等の実施				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令							
	対象者	老人クラブ会員および60歳以上の高齢者		事業期間	昭和56年度～				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・老人クラブ連合会及び単位老人クラブ（57クラブ）へ補助金の交付 ・ゲートボール大会 ・グラウンド・ゴルフ大会 ・おじいちゃんとおばあちゃんに行く名古屋市科学館 ・簡易健康度評価		・老人クラブ連合会及び単位老人クラブ（55クラブ）へ補助金の交付 ・ゲートボール大会 ・グラウンド・ゴルフ大会 ・おじいちゃんとおばあちゃんに行く名古屋市科学館 ・簡易健康度評価		・老人クラブ連合会及び単位老人クラブ（55クラブ）へ補助金の交付 ・ゲートボール大会 （雨天により開催中止） ・グラウンド・ゴルフ大会 ・おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 ・簡易健康度評価		・いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（55クラブ）へ補助金の交付 ・ゲートボール大会 ・グラウンド・ゴルフ大会 ・おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 ・簡易健康度評価	
		成果	・老人クラブ連合会及び各単位老人クラブへ補助金を交付し、活動を支援することで、自主的に様々な活動を企画運営することができ、会員の生きがいと健康づくりを推進することができた。 ・高齢者を対象としたスポーツ大会の開催や世代間交流を図る行事等により、高齢者の生きがいと健康づくりを推進することができた。						
課題		・単位老人クラブの会員数は年々減少しており、活動内容の見直しや加入勧奨に工夫をし、会員増を図る必要がある。 ・参加者が少ない行事については、参加を呼びかける努力をするとともに、事業内容について見直す必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		老人クラブ加入者数（人）		7,843	7,632	7,424	7,500	—	
活動指標		老人クラブ加入率（%）		22.0	21.1	20.3	20.3	—	
他市との比較検証		・近隣市においても、委託ではなく老人クラブ連合会の事業として補助する形で、同じような内容の事業を実施している。							
C 事業 コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		8,210	7,964	7,759	8,147	合計 7,758,900 円		
	財源	特定財源	1,917	1,878	1,803	1,610	委託料 657,944 円		
		一般財源	6,293	6,086	5,956	6,537	負担金、補助及び交付金 7,100,956 円		
	職員人件費 ②		3,369	3,361	3,722	3,744			
	総事業費（①+②）		11,579	11,325	11,481	11,891			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0		愛知県高齢者在宅福祉事業費補助金					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			高年齢者の生きがいと健康づくり推進事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	管理係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	高齢者が自分の住んでいる地域で、仲間づくりや生きがいと健康づくりができる老人クラブの役割は重要であり、必要度は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	補助金を交付することにより、連合会及び単位老人クラブの活動の活性化を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	各単位老人クラブが主体となって様々な活動を行うことにより、市が主体となつてはできないような、地域の実情に合ったきめ細かい対応ができるため、市としては補助金を交付して各クラブの活動を支援する方法が適切である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	老人クラブの活動を活性化することにより、総合計画の目標である、高齢者の社会参加・生きがいづくりを達成することができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
老人クラブの会員数は全国的に減少傾向にあり、特に60歳代の若年高齢者の加入率が低い。これは、定年の延長により引き続き就労する方や、自分なりのライフスタイルを持っている方が多くなっていることが一因である。 一方で、更に進行する高齢化社会においては介護予防や地域支援事業の枠組みの中で、高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図るための主要な方法として老人クラブ活動には大きな期待が寄せられているため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブにおいて、会員の増加を目指してより魅力的な活動内容を検討する。					

会計名 一般会計			高齡者住宅用消火設備設置費助成事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齡福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者世帯への生活支援						
	目的	消火設備を設置することにより、在宅ねたきり高齡者の安全を確保し、福祉の増進を図る。	主たる内容	○要介護4、5の高齡者がいる高齡者のみ世帯を対象に自動消火設備の設置費用を助成する。 ○自動消火設備設置に対する補助 助成率 市民税非課税世帯 10/10 313,200円以内 市民税課税世帯 9/10 281,880円以内 一人当たり 3台を上限とする。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市住宅用消火設備設置費助成事業実施要綱						
		対象者	主たる内容に記載			事業期間	平成28年度 ~ 平成30年度		
		実施方法	□直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		—		・設置者 2人 ・助成額 370,000円		・設置者 0人 ・助成額 0円		・設置者 5人 ・助成額 1,334,000円	
成果		対象者に事業を周知し、意向調査を行った。							
課題		申請者が少ないので、事業の周知が必要である。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		住宅用消火設備設置者数（人）			—	2	0	5	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト 建設事業		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	370	0	1,334	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	0	370	0	1,334			
	職員人件費 ②		0	1,797	698	1,170			
	総事業費（①+②）		0	2,167	698	2,504			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者住宅用消火設備設置費助成事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齡福祉係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	火災からの逃げ遅れを防ぎ、寝たきり高齡者の安全を確保する事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	福祉の増進が図られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	安全に関する支援であるため、市が助成していくことは妥当性がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	高齡者の住み慣れた地域での在宅生活のためにも有益である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
3か年の期限付き事業であり、それ以降の継続についてサービスの提供方法を含め検討が必要である。					

会計名			住宅改善費等補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	介護認定給付係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できるよう、高齢者の自立支援と介護者の負担軽減を図る。			主たる内容	①住宅改善費補助 要支援・要介護認定者が住宅改修を行う際に、改修費が介護保険給付の対象を超えた場合、超えた20万円までの改修費の一部を補助する。 ②介護支援ベッド貸与利用料補助 寝具からの立ち上がりが困難な軽度の認定者（要支援1・2、要介護1）に対し、介護支援ベッドの貸与利用料の一部を補助する。				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
	位置づけ 根拠法令	刈谷市住宅改善費補助金交付要綱 刈谷市介護支援ベッド貸与利用料補助金交付要綱								
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成12年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		①補助人数	170人	①補助人数	168人	①補助人数	137人	①補助人数	220人	
補助額		18,467,069円	補助額	17,967,799円	補助額	14,628,937円	補助額	23,892,000円		
②補助人数		209人	②補助人数	222人	②補助人数	219人	②補助人数	290人		
補助額		5,374,026円	補助額	6,646,698円	補助額	5,981,850円	補助額	7,964,000円		
成果		高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できる住環境が整えられた。								
課題		高齢化率の上昇に伴う予算の増加。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		住宅改善費補助人数（人）				170	168	137	220	—
活動指標	介護支援ベッド貸与利用料補助人数（人）				209	222	219	290	—	
他市との比較検証	住宅改善費補助は、西三河9市すべてで実施しており、補助上限額や補助対象者の抽出方法については、市町村独自の算定により事業を展開している。									
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		24,383	25,135	21,065	32,632	合計 21,064,787 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 21,064,787 円			
		一般財源	24,383	25,135	21,065	32,632				
	職員人件費 ②		2,037	2,188	2,016	2,028				
	総事業費（①+②）		26,420	27,323	23,081	34,660				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			<b>住宅改善費等補助事業</b>	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護認定給付係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	住宅改善費等補助は介護保険の給付対象を超えた住宅改修費に対する補助であるが、高齢化率及び介護保険申請件数の上昇にも関連し、市民ニーズは高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		高い	住宅改善費補助では、介護保険給付と市補助金をまとめて申請できるようにするなど、申請者の利便性と事務の効率化が図られている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	介護保険サービスに係わる事業のため、保険者の市が実施すべき事業である。 高齢者が住み慣れた地域や家庭で安心して暮らせるよう総合計画で介護サービスの充実を図る上で必要な事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	自宅で安心して暮らすために必要な住環境が整えられており、介護サービスの充実に大きく貢献している。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
住宅改善費等補助は、高齢化が進む中、第5期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画の重点課題である地域包括ケアシステムの推進施策である高齢者の住まいの整備を促進するため、平成25年6月より補助対象改修費の上限額を10万円から20万円に拡充すると同時に、100%であった補助率を介護保険の給付率に合わせて自己負担も求め補助制度の適正化を図った。 平成30年度からの第7期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画においても、安心な生活環境の整備として高齢者に配慮した住まいの充実を掲げており、継続して事業を実施していく。					

会計名			特別養護老人ホーム整備費補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	介護保険企画係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	特別養護老人ホームの施設整備費に対して補助金を交付することで、特別養護老人ホームの入所待機者の解消を図り、介護サービスの充実を推進する。				主たる内容	愛知県老人福祉施設等設置費補助金交付要綱に規定されている補助額の10%を補助金として交付する。			
	位置づけ	第6期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
	根拠法令	介護保険法								
	対象者	事業者			事業期間	平成28年度～平成29年度				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・補助件数 1件 ・補助額 8,250千円		・補助件数 1件 ・補助額 16,500千円		・補助件数 1件 ・補助額 16,500千円		—		
成果		事業者は補助金を活用し、定員120人の特別養護老人ホームを竣工し、平成30年4月に開所した。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
成果指標		特別養護老人ホーム整備床数（床）			360	360	480	490	—	
指標										
他市との比較検証		安城市：愛知県の補助額の10% 知立市：市の単独補助なし								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		8,250	16,500	16,500	0	合計 16,500,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 16,500,000 円			
		一般財源	8,250	16,500	16,500	0				
	職員人件費 ②		0	0	0	0				
	総事業費（①+②）		8,250	16,500	16,500	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
		29年度までの累積事業費		0						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			特別養護老人ホーム整備費補助事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護保険企画係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	特別養護老人ホームの入所待機者の解消を図るなど介護サービスの充実を推進する上で必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	刈谷市補助金等交付規則の規定に基づき補助金を交付している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	特別養護老人ホームは、設置主体が社会福祉法人などに限られ、公益性が高い施設である。また、第6期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画で特別養護老人ホームの整備を位置づけている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	社会福祉法人の安定した経営による良質なサービスの提供を行うことに寄与できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
毎年実施している特別養護老人ホームの入所待機者数調査の結果等を基に、今後の施設整備及び補助金交付の必要性について検討する。					



会計名 一般会計			高齡者能力活用事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者の社会参加・生きがづくり						
	目的	定年退職者等に対する就業機会の確保をはじめとした、高齡者能力活用事業の推進を図る。			主たる内容	刈谷市シルバー人材センターに対し補助金を交付する。			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画							
	根拠法令	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律							
	対象者	刈谷市シルバー人材センター			事業期間	昭和54年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・補助金の交付		・補助金の交付		・補助金の交付		・補助金の交付	
成果		シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齡者の能力活用及び生きがづくりを図ることができた。							
課題		経済情勢の変化にともない、企業等からの発注が減少傾向にあり、新たな就業先の確保が必要である。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標	シルバー人材センター会員数（人）			441	470	466	500	—	
指標									
O 実施	他市との比較検証	近隣市の会員数（年度末時点） 平成29年度 碧南市 429人、安城市 1,001人、知立市 450人、高浜市 419人 平成28年度 碧南市 431人、安城市 979人、知立市 465人、高浜市 422人 会員数としてはほぼ横這いの市が多い。							
	単位：千円	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
C 事業 コスト	事業費 ①	26,371	20,512	23,376	30,425	合計 23,375,908 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 23,375,908 円		
		一般財源	26,371	20,512	23,376	30,425			
	職員人件費 ②	940	391	310	312				
	総事業費（①+②）	27,311	20,903	23,686	30,737				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	29年度特定財源名称					
	29年度までの累積事業費		0						
	31年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			老人いこいの場整備運営事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり							
	目的	地域の高齢者の交流の場である老人いこいの場を設置・運営することにより、高齢者の生きがいと健康づくりを支援する。			主たる内容	老人いこいの場の運営を各管理者に委託する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	刈谷市老人いこいの場設置運営要綱						
			対象者	60歳以上の高齢者		事業期間	昭和48年度～			
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・いこいの場開設(34ヶ所)		・いこいの場開設(34ヶ所)		・いこいの場開設(35ヶ所)		・いこいの場開設(35ヶ所)		
成果		老人いこいの場を開設することにより、地域の高齢者の交流の場を提供し、相互の親睦を図るとともに、生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。								
課題										
指標名称（単位）					実績値			目標値		
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標	いこいの場開設日数（日）		6,278		6,136		6,102		6,300	—
活動指標	いこいの場利用者数（人）		65,396		68,254		68,777		65,000	—
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費①		3,215	3,409	3,416	3,567	合計		3,415,786円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費		18,878円	
		一般財源	3,215	3,409	3,416	3,567	役務費		54,756円	
	職員人件費②		1,410	1,407	1,008	1,014	委託料		3,303,920円	
	総事業費（①+②）		4,625	4,816	4,424	4,581	備品購入費		38,232円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			高齢者スポーツ等奨励事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいくり							
	目的	高齢者スポーツ大会の全国大会出場者に激励金を交付し、高齢者スポーツの奨励を図る。			主たる内容	県代表として、全国福祉祭等の高齢者スポーツ大会の全国大会に出場する選手に対し、激励金を交付する。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令								
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		山口大会：9人		長崎大会：5人		秋田大会：7人		富山大会：14人		
		成果	愛知県代表として全国大会に出場する選手に奨励金を交付する事で、大会出場者の士気を高めることができた。							
課題										
指標		指標名称（単位）				実績値			目標値	
成果指標	高齢者スポーツ大会出場者数（人）				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
指標					9	5	7	14	—	
他市との比較検証										
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		90	50	70	140	合計	70,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	70,000 円		
		一般財源	90	50	70	140				
	職員人件費 ②		627	625	310	312				
	総事業費（①+②）		717	675	380	452				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			生きがい活動支援通所事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	家に閉じこもりがちな高齢者に対し、要介護状態にならないよう通所による介護予防サービスを提供し、自立支援と保健福祉の向上を図る。	主たる内容	おおむね65歳以上で、介護保険の要支援又は要介護認定を受けていない人で、家に閉じこもりがちな高齢者に対し、高齢者福祉センター及び東刈谷市民センターにおいて生活支援通所サービス（ミニデイサービス）を提供する。						
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市生きがい活動支援通所事業実施要綱							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成9年度 ~				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		実施延日数：153日 利用延人数：1,185人		実施延日数：155日 利用延人数：1,159人		実施延日数：149日 利用延人数：1,212人		高齢者福祉センター：月・水・金曜日開催 東刈谷市民センター：第2・第4火曜日開催		
成果		通所による各種のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立的生活の助長、心身機能の維持向上等を図ることができた。								
課題		高齢者の閉じこもりを予防し解消するためには、社会参加の機会を提供することが重要であるため、より一層の周知発が必要である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		生きがい活動支援通所事業実施延日数（日）			153	155	149	168	—	
活動指標		生きがい活動支援通所事業利用延人数（人）			1,185	1,159	1,212	1,500	—	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,111	4,254	4,451	5,115	合計	4,451,350 円		
	財源	特定財源	658	664	523	504	委託料	4,451,350 円		
		一般財源	3,453	3,590	3,928	4,611				
	職員人件費 ②		313	469	155	546				
	総事業費（①+②）		4,424	4,723	4,606	5,661				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
		29年度までの累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金				
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			敬老金等支給事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行う。				主たる内容	○各地区等で行われる老人の日行事に対し補助金を交付する。 ○対象年齢の方に記念品及び敬老金を贈呈する。			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
	根拠法令	刈谷市補助金交付規則、刈谷市敬老祝金品支給要綱、刈谷市敬老会事業補助金交付要綱								
	対象者	※「B 事業実績」欄に記載				事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		記念品対象者（満75歳以上） 12,779人 敬老金対象者（10,000円/人） 満80歳、満85歳、満90歳、 満95歳、満99歳以上 1,912人		記念品対象者（満76歳以上） 12,035人 敬老金対象者 満87歳、満89歳、満98歳 満99歳 24人（30,000円） 満100歳以上 53人（20,000円）		記念品対象者（満77歳以上） 11,397人 敬老金対象者 満87歳、満89歳、満98歳 満99歳 24人（30,000円） 満100歳以上 52人（20,000円）		記念品対象者（満78歳以上） 敬老金対象者 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 満99歳 （30,000円） 満100歳以上 （20,000円）		
成果		多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行うことができた。								
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		記念品対象者（人）				12,779	12,035	11,397	—	—
活動指標		敬老金対象者（人）				1,912	933	1,035	—	—
他市との比較検証										
C 事業コスト V		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		34,862	25,782	24,599	26,924	合計	24,598,692 円		
	財源	特定財源	1	1	1	1	報償費	17,196,216 円		
		一般財源	34,861	25,781	24,598	26,923	需用費	284,276 円		
	職員人件費 ②		2,742	4,377	4,343	4,368	役務費	274,000 円		
	総事業費（①+②）		37,604	30,159	28,942	31,292	負担金、補助及び交付金	6,844,200 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		市町村権限移譲交付金						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			地域介護等推進事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	家庭介護や認知症についての正しい知識を学ぶ機会を提供し、要介護者や認知症高齢者が安心して暮らすことができる家庭、地域づくりを推進する。	主たる内容	○家庭介護教室の開催(年3回) ○認知症サポーター養成講座の開催 認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る「認知症サポーター」を養成する。 ○認知症に関するパンフレットを作成 民生委員や地域包括支援センター等を通じて啓発を行う。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令							
		対象者	市民	事業期間	平成19年度～				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・家庭介護教室の開催(年3回、延べ5日間) ・認知症サポーター養成講座 26回開催：1103人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布		・家庭介護教室の開催(年3回、延べ5日間) ・認知症サポーター養成講座 25回開催：1605人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回開催：39人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布		・家庭介護教室の開催(年3回、延べ5日間) ・認知症サポーター養成講座 21回開催：624人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回開催：55人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布予定		・家庭介護教室の開催(年3回、延べ4日間) ・認知症サポーター養成講座 25回開催：1000人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回開催：50人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布予定	
成果		・専門家による講演、演習により、家庭介護に必要な基本的な知識、技術を身につける機会を提供できた。 ・地域包括支援センターの協力により、地道な広報活動を続けてきた結果、各種団体や民間企業など、様々な方面から受講希望が集まるようになった。また、平成24年度から小学校及び中学校でのサポーター養成講座の開催を働きかけ、子どもの中から認知症に対する理解を深める機会を設けることができた。							
課題		・認知症高齢者は増加しており、その家族や地域等への周知や予防啓発は重要であるため、より一層の周知啓発が必要である。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		認知症サポーター養成講座受講者累計数(人)		5,627	7,232	7,856	8,530	8,530	
活動指標		家庭介護教室参加者数(人)		76	74	135	120	120	
他市との比較検証		・他市においても、愛知県市町村振興協会の同事業を活用して、同様の研修会を実施している。							
C 事業コスト		単位：千円		27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)	29年度事業費内訳	
	事業費①		311	514	344	657	合計	343,938円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	22,000円	
		一般財源	311	514	344	657	需用費	279,538円	
	職員人件費②		1,175	2,032	3,334	2,574	役務費	1,000円	
	総事業費(①+②)		1,486	2,546	3,678	3,231	使用料及び賃借料	41,400円	
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			福祉有償運送運営協議会事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	1	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	福祉有償運送の必要性、対価が適切なものであるか等について協議し、福祉有償運送の適切な運営を図る。			主たる内容	タクシー事業者やタクシー運転手、住民や利用者、運送主体、運輸局の職員、地方公共団体の代表により構成される福祉有償運送運営協議会にて、地域の実情を考慮し、いかにして移動制約者の移動手段を確保し、かつ輸送の安全を確保し、適切な福祉有償運送の実施を図るかを様々な立場、視点から協議する。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市福祉有償運送運営協議会設置要綱							
		対象者	協議会委員		事業期間	平成17年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・協議会の開催 開催日 11月13日		・協議会の開催 開催日 11月11日 2月8日		・協議会の開催 開催日 11月13日		・協議会を1回以上開催予定		
成果		運営協議会での合意に基づき道路運送法第79条の登録をすることにより、NPO等による自家用自動車を使用した有償運送が可能となり移動制約者の移送手段を確保することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		協議会開催数（回）			1	2	1	1	1	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		64	141	58	141	合計		57,600 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費		57,600 円	
		一般財源	64	141	58	141				
	職員人件費 ②		705	703	388	390				
	総事業費（①+②）		769	844	446	531				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
		29年度までの累積事業費		0						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			配食サービス事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	見守りが必要で、食事の支度が困難な高齢者に対し、配食サービスを提供することにより、高齢者の食の自立を支援するとともに安否を確認し、もって福祉の増進を図る。				主たる内容	65歳以上の高齢者のみの世帯で、隣接地に扶養義務者が居住せず、配食サービスの提供が必要であると判断された人に対し、週3日以内の夕食を配達し安否確認を行う。（カロリー・塩分制限等の必要の無い人を対象とした一般食） 利用者負担は、1食につき300円。			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
	位置づけ	根拠法令	刈谷市高齢者配食サービス事業実施要綱							
	対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成8年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		利用者数：333人 延べ利用食数：26,890食		利用者数：347人 延べ利用食数：29,651食		利用者数：337人 延べ利用食数：29,930食		利用者数：405人 延べ利用食数：32,000食 ・配食サービスの希望曜日及び希望業者の選択制を実施		
成果		見守りの必要な高齢者世帯に対し、配達にあわせて安否確認を行い、利用者の状況等を確認することができた。また、定期的に栄養バランスのとれた食事を提供することにより、健康で自立した生活を送ることができるよう支援した。								
課題		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯の増加が見込まれ、事業費も年々増加しているため、事業の総合的な見直しを検討する。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		配食サービス利用者数（人）			333	347	337	405	405	
活動指標		延べ利用食数（食）			26,890	29,651	29,930	32,000	32,000	
他市との比較検証		県内全市で同様の事業を実施している。配食サービスの実施回数は週2回から毎日実施、昼食のみや夕食のみと内容は様々である。また、1食あたりの市の補助額も半額程度補助している市や、配達費のみ補助している市がある。								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		13,501	14,707	14,963	22,690	合計	14,962,814円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	14,962,814円		
		一般財源	13,501	14,707	14,963	22,690				
	職員人件費②		2,350	3,048	2,559	2,106				
	総事業費（①+②）		15,851	17,755	17,522	24,796				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								



会計名							担当部	福祉健康部	
一般会計			高齢者タクシー助成事業				担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
3	1	3							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	移動の際に電車・バス等を利用することが困難な高齢者に対し、タクシー料金の一部を助成することにより、高齢者の外出支援及び閉じこもりを予防する。 また、通常の自家用車を利用することが困難な高齢者に対し、特殊車両タクシー料金の一部を助成することにより、医療機関への通院等を支援し、もって福祉の増進を図る。			主たる内容		○高齢者タクシー 在宅の要支援2以上で、市民税非課税世帯の高齢者(65歳以上)に対し、タクシー料金助成利用券(定額)を一月あたり3枚交付する。  ○介護タクシー 在宅の要介護1以上で、特殊車両の必要な高齢者(65歳以上)に対し、車椅子用昇降機や寝台付き車両のタクシー料金助成利用券(定額)を一月あたり3枚交付する。		
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	位置づけ 根拠法令	刈谷市高齢者タクシー料金助成事業実施要綱、刈谷市介護タクシー料金助成事業実施要綱							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成14年度～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	B事業 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		高齢者タクシー料金助成利用券交付人数：165人		高齢者タクシー料金助成利用券交付人数：162人		高齢者タクシー料金助成利用券交付人数：169人		高齢者タクシー料金助成利用券交付人数：185人	
介護タクシー料金助成利用券交付人数：234人		介護タクシー料金助成利用券交付人数：264人		介護タクシー料金助成利用券交付人数：275人		介護タクシー料金助成利用券交付人数：276人			
成果		タクシー料金助成利用券の交付により、外出が必要であってもその手段がない状況の解消を図ることができた。							
課題		高齢化の進行に伴い交付人数の増加を見込んだが、高齢化率に比例して交付人数は増えていないため、高齢者の問題として移動が困難な事があげられる中、より一層の周知に努め、助成に繋がるようにする必要がある。							
O 実施 V	指標名称(単位)				実績値		目標値		
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度
	活動指標	高齢者タクシー料金助成利用券交付人数(人)			165	162	169	185	196
活動指標	介護タクシー料金助成利用券交付人数(人)			234	264	275	276	300	
他市との比較検証	県内約半数の市で同様の事業を実施している。 1回の乗車につき1枚の利用に制限している市が多い。								
C事業 コスト	単位：千円		27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)	29年度事業費内訳		
	事業費①		10,076	11,239	11,326	14,383	合計	11,326,312円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	361,422円	
		一般財源	10,076	11,239	11,326	14,383	扶助費	10,964,890円	
	職員人件費②		3,839	5,080	3,490	3,432			
	総事業費(①+②)		13,915	16,319	14,816	17,815			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			生活支援ハウス運営委託事業				担当部	福祉健康部
一般会計							担当課	長寿課
款	項	目					担当係	高齢福祉係
3	1	3						
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	高齢者福祉					
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援					
	目的	<p>居宅において生活することに不安がある高齢者に対し、一時的な住居を提供し、併せて必要な介護サービスの利用調整をすることにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、もって高齢者の福祉の増進を図る。</p>	主たる内容	<p>市内に居住する60歳以上の高齢者に対し、住宅改修時、家族の長期入院・長期出張中又は病院・老人保健施設などから退院・退所後自宅での生活に慣れるまでの間などに、6ヶ月以内を原則として住居を提供する。施設には生活援助員が24時間常駐し、生活に関する相談や緊急時の対応に当たる。 利用料（利用者の収入により決定）の他、利用に伴う光熱水費や入所保証金が必要となる。</p>				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画					
		根拠法令	刈谷市生活支援ハウス運営事業実施要綱					
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成19年度～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画
		利用人数：1人 延べ日数：91日		利用人数：5人 延べ日数：663日		利用人数：6人 延べ日数：456日		事業の性質上、計画・目標値は未設定。
成果		被虐待者など、避難先として住居が必要となった高齢者に対して住居を提供することで、高齢者の不安の解消及び必要な支援等を実施することができた。						
課題		高齢者を取り巻く環境は日々変化しており、家族の援助を受けることが困難な高齢者は増加しているため、一時的な住居として利用できる生活支援ハウスの周知を図る必要がある。						
指標名称（単位）			実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		生活支援ハウス利用人数（人）		1	5	6	—	—
指標								
他市との比較検証		県内で一宮市、春日井市、碧南市、豊田市、安城市、西尾市、高浜市、新城市、田原市等が同様な事業を実施。 多くが社会福祉法人に運営を委託しており、定員は7名から20名である。						
C 事業コスト		単位：千円	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費①	8,780	8,780	8,780	8,780	合計	8,780,000円	
	財源	特定財源	12	145	37	10	委託料	8,780,000円
		一般財源	8,768	8,635	8,743	8,770		
	職員人件費②	1,959	1,719	1,473	1,248			
	総事業費（①+②）	10,739	10,499	10,253	10,028			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称		
29年度までの累積事業費		0		生活支援ハウス利用負担金				
31年度以降の事業費見込		0						

会計名							担当部	福祉健康部		
一般会計			高齢者日常生活支援事業				担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の日常生活を支援し、福祉の増進を図る。			主たる内容	○緊急通報システム：ひとり暮らし高齢者等の自宅に、急病・事故等の緊急時にボタンで連絡がとれる緊急通報システムを整備する。 ○福祉電話：ひとり暮らし高齢者等に、民生委員が定期的な電話による声の訪問を行う。また、電話機のない市民税非課税のひとり暮らし高齢者の自宅に電話機を設置する。 ○日常生活用具給付 ○家具転倒防止器具取付 ○布団乾燥等 ○友愛訪問				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市緊急通報システム設置事業実施要綱、刈谷市福祉電話事業実施要綱 他							
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	昭和60年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B事業実績 D実績 O実績 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・緊急通報：573人 ・声の訪問：34人 ・福祉電話：33人 ・日常生活用具：12人 ・家具転倒防止器具：6世帯 ・布団乾燥等：143人 ・友愛訪問：14人		・緊急通報：546人 ・声の訪問：40人 ・福祉電話：31人 ・日常生活用具：8人 ・家具転倒防止器具：8世帯 ・布団乾燥等：148人 ・友愛訪問：10人		・緊急通報：552人 ・声の訪問：42人 ・福祉電話：29人 ・日常生活用具：10人 ・家具転倒防止器具：3世帯 ・布団乾燥等：159人 ・友愛訪問：9人		・緊急通報：550人 ・声の訪問：47人 ・福祉電話：32人 ・日常生活用具：34人 ・家具転倒防止器具：10世帯 ・布団乾燥等：153人 ・友愛訪問：30人		
成果		ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等が安全に安心して生活できるよう、日常生活の支援となる各種福祉サービスを提供し、福祉の増進を図ることができた。								
課題		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれるため、より一層の周知啓発が必要である。								
		指標名称（単位）				実績値		目標値		
		27年度	28年度	29年度	30年度	32年度				
活動指標	緊急通報システム利用者数（人）	573	546	552	550	598				
活動指標	布団乾燥等利用者数（人）	143	148	159	153	158				
	他市との比較検証									
C事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費①		19,629	18,984	18,959	22,062	合計	18,959,291円		
	財源	特定財源	201	128	220	205	報償費	57,000円		
		一般財源	19,428	18,856	18,739	21,857	委託料	17,842,657円		
	職員人件費②		9,166	6,252	4,110	6,396	使用料及び賃借料	356,855円		
	総事業費（①+②）		28,795	25,236	23,069	28,458	扶助費	702,779円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			シルバーハウジング支援事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣して生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供することにより、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう在宅生活を支援する。	主たる内容	老人デイサービスセンターひまわりに生活援助員を配置し、シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、定期的な訪問及び電話による安否確認を行うとともに、緊急通報システムにより連絡を受けた場合、すぐに駆け付けて適切な対応をする。なお、夜間及び休日は緊急通報受報業者により対応する。 生活援助員派遣手数料として月額1,000円（生活保護法による被保護者世帯及び生計中心者市民税所得割非課税世帯は除く。）						
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市シルバーハウジング生活援助員派遣事業実施要綱							
		対象者	シルバーハウジングの入居者	事業期間	平成10年度～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		部屋数：53戸		部屋数：53戸		部屋数：53戸		部屋数：54戸 平成31年1月に1戸増設予定		
成果		シルバーハウジングに居住する高齢者に対して生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、緊急時の対応等のサービスを提供することによって、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができた。								
課題		シルバーハウジングの供給戸数を増やすことが困難である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		シルバーハウジング部屋数（戸）			53	53	53	54	54	
指標										
他市との比較検証		県営・市営住宅のシルバーハウジングに入居している世帯のほか、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯に生活援助員を派遣している市もある。 利用者負担は無料から月4,900円まで様々である。								
C 事業コスト		単位：千円	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費①	10,553	10,337	11,337	12,214	合計	11,336,889円			
	財源	特定財源	48	60	67	72	委託料	11,336,889円		
		一般財源	10,505	10,277	11,270	12,142				
	職員人件費②	1,097	1,094	1,086	1,560					
	総事業費（①+②）	11,650	11,431	12,423	13,774					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		シルバーハウジング生活援助員派遣手数料						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業				担当部 福祉健康部	
款 3	項 1	目 3				担当課 長寿課	
						担当係 高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野 福祉安全					
		基本施策 高齢者福祉					
		施策の内容 高齢者世帯への生活支援					
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者に見舞金を支給することにより、その属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。	主たる内容	65歳以上で在宅のねたきり又は認知症の人（有効な要支援・要介護認定の主治医意見書等で状態を確認）に対し、月額5,000円の見舞金を支給する。 見舞金は、年2回（9月・3月）に分けて、民生委員を通じて支給する。			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画					
	根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給要綱					
	対象者	※主たる内容に記載		事業期間	昭和49年度～		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	B 事業 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績	
		受給者数 前期：593人 後期：617人		受給者数 前期：638人 後期：624人		受給者数 前期：636人 後期：659人	
受給者数 前期：700人 後期：700人							
成果		老人福祉の理念に基づき、ねたきり高齢者等の属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図ることができた。					
課題		高齢化の進行に伴い、対象者の増加が見込まれるため、より一層の周知に努め、給付に繋がるようにする必要がある。また、在宅ねたきり・認知症高齢者にならないための介護予防を併せて推進することも必要である。					
指標名称（単位）			実績値		目標値		
			27年度	28年度	29年度	30年度	
			32年度				
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金受給者数：前期（人）		593	638	636	700
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金受給者数：後期（人）		617	624	659	700
他市との比較検証	県内の約半数の市で同様の事業を実施している。ねたきり・認知症の日常生活自立度等で判定する他、要介護度やその状態が3か月以上継続していることなどの要件がある。また、世帯の所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市も多い。						
C 事業 コ ス ト	単位：千円	27年度 （決算）	28年度 （決算）	29年度 （決算）	30年度 （予算）	29年度 事業費内訳	
	事業費 ①	30,807	31,788	32,561	32,815	合計 32,560,622 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	需用費 80,622 円
		一般財源	30,807	31,788	32,561	32,815	扶助費 32,480,000 円
	職員人件費 ②	2,350	4,377	4,885	3,276		
	総事業費（①+②）	33,157	36,165	37,446	36,091		
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称	
		29年度までの累積事業費		0			
31年度以降の事業費見込		0					

会計名 一般会計		在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ助成事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目				担当課	長寿課		
3	1	3				担当係	高齢福祉係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者に対し、おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の増進を図る。	主たる内容	在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金受給者で、常時おむつを必要とする人に対し、一月あたり3,000円相当のおむつ費用助成利用券を交付する。 なお、要介護4又は5で、市民税非課税世帯の人は、一月あたり6,000円相当とする。					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成事業実施要綱							
	対象者	在宅ねたきり認知症高齢者見舞金受給者	事業期間	平成8年度 ~					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		利用券交付人数 前期：472人 後期：476人		利用券交付人数 前期：504人 後期：464人		利用券交付人数 前期：495人 後期：478人		利用券交付人数 前期：545人 後期：545人	
成果		おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の向上を図ることができた。							
課題		高齢化の進行に伴い、在宅で介護を受けるねたきり・認知症高齢者の増加が見込まれるため、今後より一層の周知に努め、在宅介護者の負担軽減に繋がるようにする必要がある。 また、重症化を防ぐための介護予防や自立支援の体制整備を併せて推進することも必要である。							
O ハ 実 施 V	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
	活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券交付人数：前期（人）		472	504	495	545	557	
	活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券交付人数：後期（人）		476	464	478	545	557	
他市との比較検証	県内のほとんどの市で同様の事業を実施している。 おむつを現物支給する市もあるが、大半は利用券を交付しており、金額は一月あたり2,500円～7,000円と幅がある。また、要介護認定だけでなく、所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市も多い。								
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①	13,762	13,647	13,972	16,192	合計	13,971,827 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	36,000 円	
		一般財源	13,762	13,647	13,972	16,192	需用費	319,410 円	
	職員人件費 ②	3,055	3,751	4,808	3,822	扶助費	13,616,417 円		
	総事業費（①+②）	16,817	17,398	18,780	20,014				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			老人ホーム入所者生活補給金支給事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	養護老人ホームに入所している高齢者に生活補給金を支給することにより、老人福祉の理念に基づき、高齢者の福祉の増進を図る。			主たる内容	刈谷市が措置し、前月收入額が7,500円未満の入所者に対し、1人につき、生活補給金として月額最大7,500円を支給する。 養護老人ホーム入所者の病院の受診費用や日常生活品の購入などに充てる。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人ホーム入所者生活補給金支給事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成18年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		受給者数：12人		受給者数：11人		受給者数：11人		事業の性質上、計画・目標値は未設定。	
成果		生活補給金を支給し、対象者の病院の受診費用や日常生活品の購入に充てることにより、対象者が安定した生活を送ることができた。							
課題		入居者より増額要求が度々あるが、増額根拠が無いため、補給金の性質を説明して現状を維持している。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標	老人ホーム入所者生活補給金受給者数（人）			12	11	11	—	—	
指標									
他市との比較検証	養護老人ホームを持つ近隣4市は皆補給金を7,500円/月としている。								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		968	908	735	1,215	合計	735,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	735,000円	
		一般財源	968	908	735	1,215			
	職員人件費②		1,097	1,876	2,637	2,730			
	総事業費（①+②）		2,065	2,784	3,372	3,945			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費			0						
31年度以降の事業費見込			0						

会計名		在日外国人特別給付事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	高齢福祉係	
3	1					3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	年金の受給資格の取れなかった外国人無年金者で一定の要件を満たす方に対し、特別給付金を支給し福祉の向上を図る。	主たる内容	大正15年4月1日以前に出生した外国人で、老齢福祉年金の所得基準を満たす方に対し、一月あたり1万円を支給する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市在日外国人特別給付金支給要綱						
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成6年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		受給者数：0人		受給者数：0人		受給者数：0人		事業の性質上、計画・目標値は未設定。	
成果									
課題		大正15年4月1日以前に出生した外国人で、1年以上刈谷市に住んでいる方が対象ということで、制度はあるものの今後受給者が出るか未定。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		在日外国人特別給付金受給者数（人）			0	0	0	—	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	0	120	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	0	120			
	職員人件費 ②		548	469	233	234			
	総事業費（①+②）		548	469	233	354			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							



会計名 一般会計			老人ホーム措置事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	原則として65歳以上のもので、身体上又は精神上の障害があるために日常生活を営むのに支障がある者が、心身の状況、その置かれている環境等に応じて、自立した日常生活を営むために最も適切な支援が総合的に受けられるように、養護老人ホーム等への入所措置、介護保険サービスの便宜を供与する措置等の積極的な実施に努め、もって当該高齢者の福祉の増進を図る。	主たる内容	養護老人ホーム及び特別養護老人ホーム等（やむを得ない措置）被措置者の入所施設等に対し、支弁費を支給する。  ※やむを得ない措置とは、事業者と契約をして介護サービスを利用することや、その前提となる市町村に対する要介護認定の申請を期待しがたい場合、又は高齢者虐待等により保護及び支援が必要と認められる場合をいう。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人福祉法施行細則、老人福祉法第28条の規定による費用徴収規則						
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	～			
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：21人 他市：2人 （年度末時点）		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：22人 他市：2人 （年度末時点）		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：25人 他市：3人 （年度末時点）		老人福祉法上の措置であるため、計画・目標値は未設定。	
成果		居宅での生活が困難であった高齢者を養護老人ホームに入所させることで、高齢者が心身ともに健全な生活を送ることができた。							
課題		定員50名の施設であるが、半数が空き室である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		養護老人ホーム被措置者数（人）			23	24	28	—	—
指標									
他市との比較検証		養護老人ホームを民間委託した事で、入居率が上がっている市（碧南市、高浜市、半田市他）がある。							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		55,057	54,845	63,301	78,009	合計	63,300,839 円	
	財源	特定財源	50,169	48,526	55,211	71,056	報償費	50,000 円	
		一般財源	4,888	6,319	8,090	6,953	扶助費	63,250,839 円	
	職員人件費 ②		3,134	4,298	3,722	2,652			
	総事業費（①+②）		58,191	59,143	67,023	80,661			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0		老人ホーム被措置者負担金 老人ホーム入所者措置収入					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			防災ベッド設置費補助事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	防災ベッドを設置するための費用を補助することにより、高齢者の安全を確保し、福祉の増進を図る。		主たる内容	在宅の65歳以上の人を対象に防災ベッドを設置する費用を補助する。 <補助内容> 補助率 市民税非課税世帯 10/10 300,000円以内 市民税課税世帯 9/10 270,000円以内				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市高齢者防災ベッド設置費補助金交付要綱						
		対象者	在宅の65歳以上の人			事業期間	平成28年度 ~ 平成30年度		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
				・設置者 2人 ・補助額 580,800円		・設置者 0人 ・補助額 0円		・設置者 12人 ・補助額 3,480,000円	
成果		防災ベッドを実物展示をして、市民への周知を行った。							
課題		申請者が少ないので、事業の周知が必要である。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		防災ベッド設置者数（人）			—	2	0	12	—
指標									
他市との比較検証		近隣市の多くは、30万円上限で耐震シェルターの設置費助成を行なっている。							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	581	0	3,480	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	0	581	0	3,480			
	職員人件費 ②		0	1,407	543	468			
	総事業費（①+②）		0	1,988	543	3,948			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			介護保険会計繰出事業				担当部	福祉健康部			
款	項	目					担当課	長寿課			
3	1	3					担当係	介護保険企画係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	介護サービスの充実								
	目的	介護保険事業の円滑な運営を図る。			主たる内容	介護保険事業に係る介護給付費、地域支援事業費、総務費の市負担分を介護保険会計に繰り出す。					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画									
	位置づけ	根拠法令	介護保険法								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成12年度～					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他									
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画			
		介護給付費分：816,303,000円		介護給付費分：864,949,000円		介護給付費分：908,064,000円		介護給付費分：939,125,000円			
地域支援事業費分：34,834,000円		地域支援事業費分：36,116,000円		地域支援事業費分：88,453,000円		地域支援事業費分：80,830,000円					
低所得者保険料軽減分：8,942,388円		低所得者保険料軽減分：9,280,000円		低所得者保険料軽減分：9,481,000円		低所得者保険料軽減分：9,753,000円					
総務費分：213,212,612円		総務費分：215,220,000円		総務費分：240,127,000円		総務費分：240,094,000円					
計 1,073,292,000円		計 1,125,565,000円		計 1,246,125,000円		計 1,269,802,000円					
成果		介護保険法に規定されている介護給付費等の市負担分を一般会計から介護保険会計に繰り出すことで、介護保険会計の健全な運営を行うことができた。									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
活動指標	繰出額（千円）			1,073,292	1,125,565	1,246,125	1,269,802		—		
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳				
	事業費①		1,073,292	1,125,565	1,246,125	1,269,802	合計 1,246,125,000円				
	財源	特定財源	12,462	9,238	10,206	7,315	繰出金 1,246,125,000円				
		一般財源	1,060,830	1,116,327	1,235,919	1,262,487					
	職員人件費②		78	78	78	78					
	総事業費（①+②）		1,073,370	1,125,643	1,246,203	1,269,880					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0						
		29年度までの累積事業費			0						
31年度以降の事業費見込			0								
			29年度特定財源名称		低所得者保険料軽減負担金（国・県）						

会計名			介護サービス利用者負担等軽減事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	介護認定給付係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	低所得の高齢者であっても必要な介護サービスが利用できるように支援する。	主たる内容	①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成 市民税非課税世帯の前年収入や預貯金額等が一定以下などの要件を満たす人に対し、居宅サービス等の介護サービス費の利用者負担額の2分の1を助成する。 ②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助 対象サービスの介護サービス費、食費、居住費等を軽減した社会福祉法人等に対し、軽減額から本来受領すべき利用者負担額の1%を控除した額の2分の1を補助する。					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業実施要綱 他							
	対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成12年度～				
	実施方法	□直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		①助成人数 17人 助成額 586,529円 ②補助法人数 3法人 補助額 1,516,000円		①助成人数 12人 助成額 407,762円 ②補助法人数 2法人 補助額 1,406,000円		①助成人数 6人 助成額 237,185円 ②補助法人数 3法人 補助額 1,234,000円		①助成人数 28人 助成額 904,000円 ②補助法人数 3法人 補助額 2,339,000円	
成果		生活の維持が困難な低所得の高齢者であっても、必要な介護保険サービスを利用することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成人数（人）			17	12	6	28	—
活動指標		②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助額（円）			1,516,000	1,406,000	1,234,000	2,339,000	—
他市との比較検証		①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成は、対象条件や助成割合が異なるが、県内では18保険者が実施している。 ②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助は、概ね全国の保険者が実施している。							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		2,103	1,814	1,471	3,267	合計 1,471,185 円		
	財源	特定財源	1,137	1,054	925	1,450	負担金、補助及び 交付金 1,234,000 円		
		一般財源	966	760	546	1,817	扶助費 237,185 円		
	職員人件費 ②		1,332	1,563	233	234			
	総事業費（①+②）		3,435	3,377	1,704	3,501			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0		福祉法人等サービス利用軽減 事業費補助金（県）					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			ケアプラン指導研修事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	介護認定給付係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	介護支援専門員（ケアマネジャー）のスキルアップを図り、高齢者が適切なケアプランのもとで介護保険サービスを利用できるようにする。			主たる内容	介護支援専門員を対象に、ケアマネジメントリーダー等によるケアプランの事例調査・指導・作成技術向上のための研修を行う。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	介護保険法						
		対象者	市内介護支援専門員			事業期間	平成18年度～			
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 2回		
成果		介護支援専門員のケアプラン作成技術の向上が図られたことで、適切なケアプランに基づく高齢者のサービス利用に繋がった。								
課題		より多くの介護支援専門員に参加してもらうため、対象者のニーズと課題を把握し、参加意欲を高める研修プログラムの作成や周知方法の工夫が必要である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		開催数（回）			2	2	2	2	—	
成果指標		延参加人数（人）			99	104	77	95	—	
他市との比較検証		刈谷市独自の事業である。								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		12	12	25	28	合計		24,820 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費		24,820 円	
		一般財源	12	12	25	28				
	職員人件費 ②		392	469	388	390				
	総事業費（①+②）		404	481	413	418				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
		29年度までの累積事業費		0						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			高齡者施設消防設備整備費補助事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	介護保険企画係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	既存の高齡者施設等がスプリンクラーを整備するための支援を行うことにより、施設の防火対策を向上させ、自力避難が困難な施設利用者の安全性を確保する。		主たる内容	スプリンクラー設備等が未設置となっている高齡者施設等において、スプリンクラーを整備した場合、補助金を交付する。				
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金及び地域介護・福祉空間整備推進交付金交付要綱					
		対象者	事業者	事業期間	平成29年度～平成29年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		_____		_____		補助件数 1件 補助額 4,820千円		_____	
成果		事業者は補助金を活用し、スプリンクラーを整備した。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標		スプリンクラーが未設置の高齡者施設等の数（か所）			1	1	0	0	0
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	4,820	0	合計 4,820,000円		
	財源	特定財源	0	0	4,820	0	負担金、補助及び交付金 4,820,000円		
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費②		0	0	0	0			
	総事業費（①+②）		0	0	4,820	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0		地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			生きがいセンター管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	7							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりの場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。		主たる内容	○施設の管理運営を指定管理者である刈谷市シルバー人材センターに委託する。 ○施設の修繕等				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市高齢者生きがい施設条例、刈谷市高齢者生きがい施設条例施行規則						
		対象者	60歳以上の高齢者	事業期間	昭和62年度～				
		実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用 ・施設の修繕等		・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用 ・施設の修繕等		・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用 ・施設の修繕等		・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用 ・施設の修繕等	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		高齢者市民講座参加者延人数（人）		4,856	4,696	4,451	4,800	—	
活動指標		生きがいセンター延べ利用者数（人）		20,898	20,504	21,071	21,000	—	
他市との比較検証		近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		20,278	18,076	17,894	19,908	合計	17,894,162 円	
	財源	特定財源	0	0	0	10	役務費	12,519 円	
		一般財源	20,278	18,076	17,894	19,898	委託料	15,901,643 円	
	職員人件費 ②		783	234	233	234	使用料及び賃借料	1,980,000 円	
	総事業費（①+②）		21,061	18,310	18,127	20,142			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
		29年度までの累積事業費		0		施設賠償責任保険金収入			
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			養護老人ホーム管理運営事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	1	6								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	老人福祉法に基づく、主に経済的な理由で居宅において生活することが困難な65歳以上の高齢者を入所させ、養護するための施設で、入所者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導や訓練を行うことを目的とする。				主たる内容	○施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。 ○施設の修繕等			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人福祉法施行細則、刈谷市ふれあいの里条例							
	対象者	※目的に記載				事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・養護老人ホーム管理運営委託 ・施設の修繕等		・養護老人ホーム管理運営委託 ・施設の修繕等		・養護老人ホーム管理運営委託 ・施設の修繕等		・養護老人ホーム管理運営委託 ・施設の修繕等		
成果		入所者の生活援助や社会参加の促進及び生活環境の整備を図ることができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		刈谷市養護老人ホーム入所者数（人）			24	24	26	—	—	
指標										
他市との比較検証		老人福祉法に基づいた行政の措置施設であるため、他市でも同様の事業を実施している。								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		82,025	80,766	81,618	80,461	合計	81,618,000 円		
	財源	特定財源	4,924	4,762	5,725	6,834	委託料	81,618,000 円		
		一般財源	77,101	76,004	75,893	73,627				
	職員人件費 ②		783	234	155	234				
	総事業費（①+②）		82,808	81,000	81,773	80,695				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
		29年度までの累積事業費		0		老人ホーム扶養義務者負担金 老人ホーム被措置者負担金 在宅老人短期保護手数料 老人ホーム入所者措置収入				
31年度以降の事業費見込		0								



会計名			高齡者交流プラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	7							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実						
	目的	高齡者福祉の拠点として、生きがいと健康づくり、交流の場を提供し、高齡者福祉の向上を図る。			主たる内容	○施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。 ○施設の修繕等			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画							
	位置づけ	根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則						
	対象者	60歳以上の高齡者		事業期間	平成9年度 ~				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>大浴室利用</li> <li>講座の開催</li> <li>行事の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>大浴室利用</li> <li>講座の開催</li> <li>行事の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>大浴室利用</li> <li>講座の開催</li> <li>行事の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>大浴室利用</li> <li>講座の開催</li> <li>行事の開催</li> </ul>	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		高齡者交流プラザ延べ利用者数（人）			112,126	106,099	130,433	130,500	—
活動指標		うち大浴室利用者数（人）			57,813	56,820	57,352	58,000	—
他市との比較検証		近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		79,439	80,456	81,249	79,462	合計	81,249,204 円	
	財源	特定財源	0	0	0	10	役務費	71,496 円	
		一般財源	79,439	80,456	81,249	79,452	委託料	78,732,000 円	
	職員人件費 ②		783	234	233	234	使用料及び賃借料	2,445,708 円	
	総事業費（①+②）		80,222	80,690	81,482	79,696			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
		29年度までの累積事業費		0		施設賠償責任保険金収入			
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			いきいきプラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	7							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくり、交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。	主たる内容	○施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。 ○施設の修繕等					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市老人福祉計画						
		根拠法令	刈谷市一ツ木福祉センター条例、刈谷市一ツ木福祉センター条例施行規則						
	対象者	60歳以上の高齢者	事業期間	平成10年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実績 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング室利用</li> <li>・歩行プール利用</li> <li>・講座の開催</li> <li>・行事の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング室利用</li> <li>・歩行プール利用</li> <li>・講座の開催</li> <li>・行事の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング室利用</li> <li>・歩行プール利用</li> <li>・講座の開催</li> <li>・行事の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング室利用</li> <li>・歩行プール利用</li> <li>・講座の開催</li> <li>・行事の開催</li> </ul>	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		いきいきプラザ入館者数（人）		57,590	57,356	50,593	57,500	—	
活動指標		トレーニング室利用者数（人）		24,721	25,222	22,784	25,500	—	
他市との比較検証		近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		31,737	31,659	34,821	31,947	合計	34,820,546 円	
	財源	特定財源	0	0	0	10	需用費	2,505,600 円	
		一般財源	31,737	31,659	34,821	31,937	役務費	20,946 円	
	職員人件費 ②		783	234	233	234	委託料	32,294,000 円	
	総事業費（①+②）		32,520	31,893	35,054	32,181			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
		29年度までの累積事業費		0		施設賠償責任保険金収入			
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			ぬくもりプラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	7							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくり、交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。		主たる内容	○施設の管理運営及び各種講座の開催				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市南部福祉センター条例、ぬくもりプラザ処務規則						
	対象者	60歳以上の高齢者		事業期間	平成13年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室利用</li> <li>・マッサージ室利用</li> <li>・ふれあい交流室利用</li> <li>・講座の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室利用</li> <li>・マッサージ室利用</li> <li>・ふれあい交流室利用</li> <li>・講座の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室利用</li> <li>・マッサージ室利用</li> <li>・ふれあい交流室利用</li> <li>・講座の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室利用</li> <li>・マッサージ室利用</li> <li>・ふれあい交流室利用</li> <li>・講座の開催</li> </ul>	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		ぬくもりプラザ延べ利用者数（人）		56,205	53,108	54,853	55,000	—	
活動指標		うち浴室利用者数（人）		26,982	25,837	25,718	26,000	—	
他市との比較検証		近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費①		5,882	4,839	5,486	16,527	合計	5,485,877円	
	財源	特定財源	410	486	391	391	賃金	3,495,820円	
		一般財源	5,472	4,353	5,095	16,136	報償費	330,000円	
	職員人件費②		783	234	233	234	需用費	1,504,537円	
	総事業費（①+②）		6,665	5,073	5,719	16,761	役務費	155,520円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
		29年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料			
31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			高齢者交流プラザ改修事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	7					担当係	管理係		
PLAN概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	施設の不具合箇所を改修・補修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。				主たる内容	施設の不具合箇所の修繕及び改修工事			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則						
			対象者	60歳以上の高齢者		事業期間	平成28年度～			
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O A 実 施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		_____		【修繕】 浴場ろ過装置ろ材取替修繕他 【工事】 吸収式冷温水発生器更新工事他		【修繕】 養護老人ホームベランダ硝子飛散防止フィルム張替え他 【工事】 防犯カメラ増設工事他		【修繕】 東西吹抜け硝子フィルム張替え他 【工事】 喫煙室改修工事		
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。								
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。								
指標		指標名称（単位）				実績値			目標値	
成果指標	修繕等箇所数（か所）		27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	30年度	32年度	
成果指標	修繕等進捗率（%）		—	10	8	9	—			
他市との比較検証										
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	36,581	106,702	44,200	合計	106,702,384 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	5,686,373 円		
		一般財源	0	36,581	106,702	44,200	工事請負費	101,016,011 円		
	職員人件費 ②		0	391	310	312				
	総事業費（①+②）		0	36,972	107,012	44,512				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターたんぽぽ補修事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目				担当課	長寿課		
3	1	7				担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	施設の不具合箇所を補修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容		施設の不具合箇所の修繕及び改修工事		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市南部福祉センター条例、刈谷市南部福祉センター条例施行規則						
		対象者	介護保険法の規定に準じる			事業期間	平成28年度～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
				【修繕】 浴場ろ過装置水質コントロール取替修繕 他 【工事】 非常用照明等取替工事		【修繕】 一般浴ろ過装置設備等修繕 他 【工事】 空調機設置工事 他		・脱衣室フローリング張替修繕 ・厨房用温水メーター取替	
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標		修繕等箇所数（か所）			—	4	6	2	—
成果指標		修繕等進捗率（％）			—	100	100	100	—
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	1,927	2,831	240	合計	2,830,680 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	448,200 円	
		一般財源	0	1,927	2,831	240	工事請負費	2,382,480 円	
	職員人件費 ②		0	391	310	312			
	総事業費（①+②）		0	2,318	3,141	552			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			生きがいセンター補修事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	7					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	施設の不具合箇所を補修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容	施設の不具合箇所の修繕及び改修工事				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	刈谷市高齢者生きがい施設条例、刈谷市高齢者生きがい施設条例施工規則						
		対象者				事業期間	平成28年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
				<ul style="list-style-type: none"> <li>正面玄関内側自動扉修繕</li> <li>集会室音響設備修繕</li> </ul>		倉庫間仕切カーテン設置工事		チャイム取り換え修繕 他		
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。								
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
成果指標		修繕等箇所数（か所）			—	2	1	3	—	
成果指標		修繕等進捗率（％）			—	100	100	100	—	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	1,069	1,202	400	合計		1,202,040 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費		205,200 円	
		一般財源	0	1,069	1,202	400	工事請負費		996,840 円	
	職員人件費 ②		0	391	310	312				
	総事業費（①+②）		0	1,460	1,512	712				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
		29年度までの累積事業費		0						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターなのはな補修事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目				担当課	長寿課		
3	1	7				担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	施設・設備の不具合箇所を補修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容	施設の不具合箇所の修繕及び改修工事			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	老人デイサービスセンターなのはな条例、老人デイサービスセンターなのはな条例施行規則						
		対象者	介護保険法の規定に準じる			事業期間	平成28年度～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		—		・キャビネット鍵ユニット交換 ・機械室内ろ過ユニット部品他取替修繕		・食洗機取替修繕 ・トイレ取替修繕 ・脱衣室床修繕		・空調設備改修工事 ・ろ過装置修繕	
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標		修繕等箇所数（か所）			—	2	3	2	—
成果指標		修繕等進捗率（%）			—	100	100	100	—
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	1,326	3,000	12,000	合計	3,000,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	3,000,000 円	
		一般財源	0	1,326	3,000	12,000			
	職員人件費 ②		0	469	465	390			
	総事業費（①+②）		0	1,795	3,465	12,390			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
		29年度までの累積事業費		0					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			養護老人ホーム補修事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	6					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	施設の不具合箇所を補修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。				主たる内容	施設の不具合箇所の修繕及び改修工事		
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者					事業期間	～	
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		—		—		<ul style="list-style-type: none"> <li>居室トイレ床張替修繕</li> <li>居室用照明器具取替修繕</li> <li>居室用畳取替修繕</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>厨房内空調機更新</li> <li>トイレ改修</li> <li>汚物処理室改修</li> <li>ロールカーテン設置</li> </ul>	
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		修繕等箇所数（か所）			—	—	3	4	—
活動指標		修繕等進捗率（％）			—	—	100	100	—
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	642	5,960	合計	641,878 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	641,878 円	
		一般財源	0	0	642	5,960			
	職員人件費 ②		0	0	78	78			
	総事業費（①+②）		0	0	720	6,038			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							